

第2期石垣市エコアイランド構想



石垣市
令和7年3月

1. 第1期の石垣市エコアイランド構想について

美しい自然の保全と、離島ゆえの生活や経済活動などの条件を踏まえ、環境保全、市民生活、産業振興のバランスの上に、環境と共生したエコアイランドの形成に取り組むため、市民、企業、専門家及び行政等の協働を取りまとめた構想です。

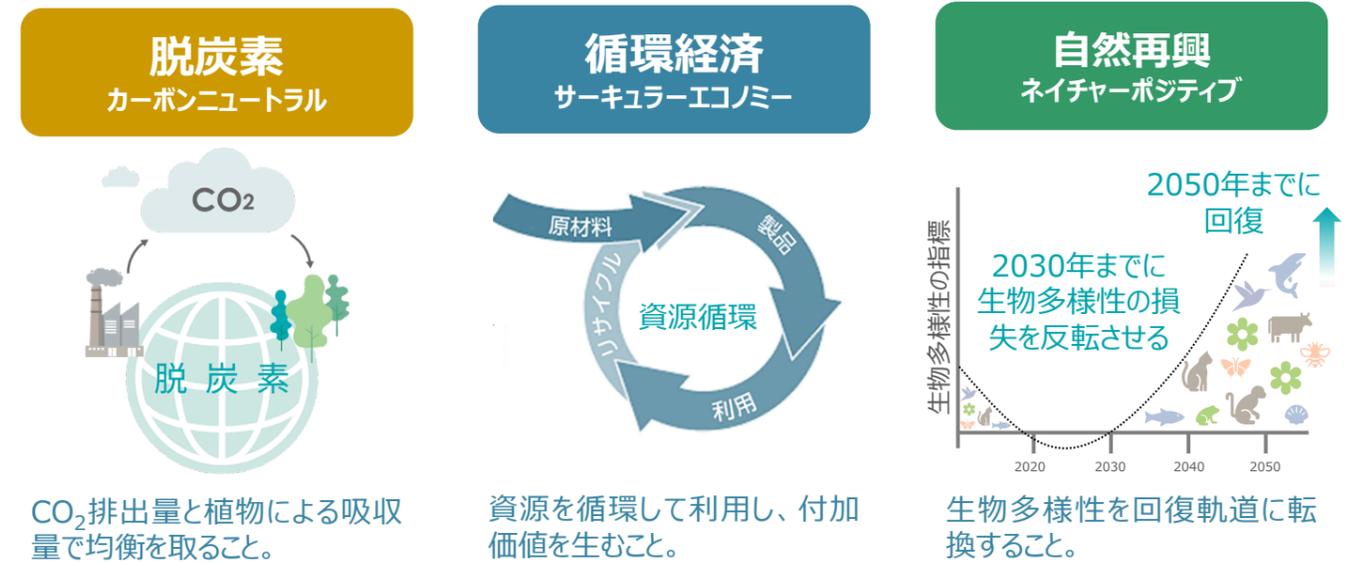
➡ 平成25年に策定しており、策定から10年経過しています。

- 基本方針 -

方針1	再生可能エネルギー等のインフラ導入・産業活用等を促進する
方針2	各分野において省エネルギー対策を促進する
方針3	リサイクル等環境負荷の低減を促進する
方針4	低炭素型のまちづくりを促進する

2. 近年の国際・国内動向

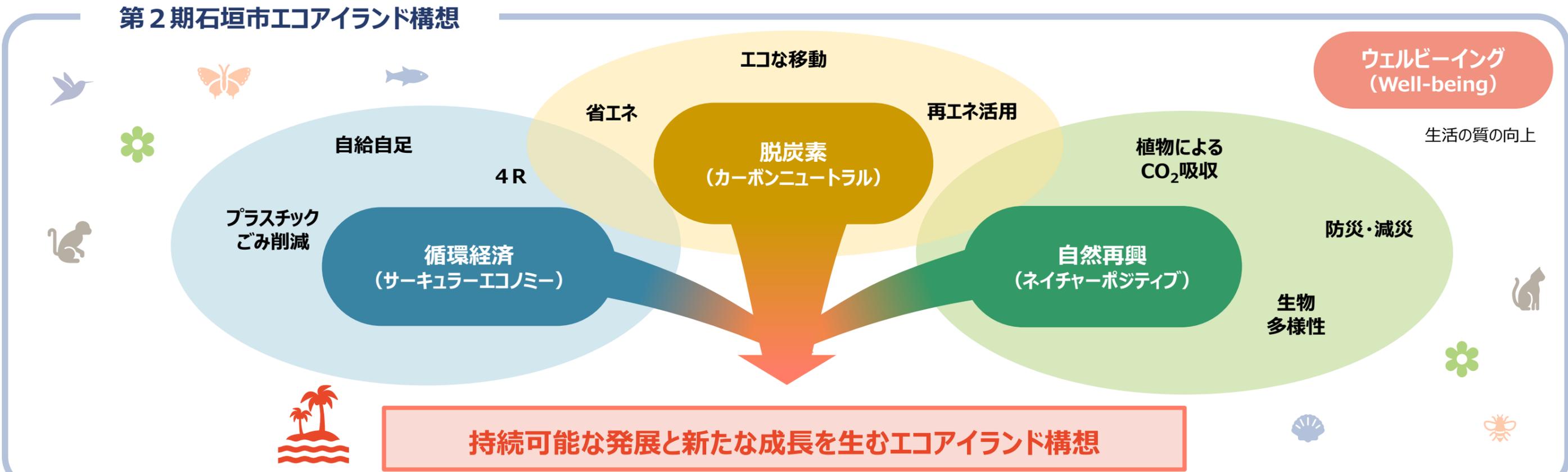
近年では、脱炭素・循環経済・自然再興の3つのアプローチから、地域の課題解決に資する取組を求められています。



3. 第2期の石垣市エコアイランド構想で目指す方針

これまでの構想や取組と近年の国際・国内動向を踏まえて、3つのアプローチによるエコアイランドの取組が、市民の生活を含む持続可能な発展と新たな成長を生む第2期構想を策定します。

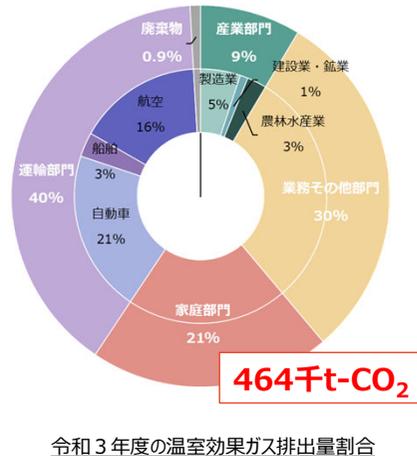
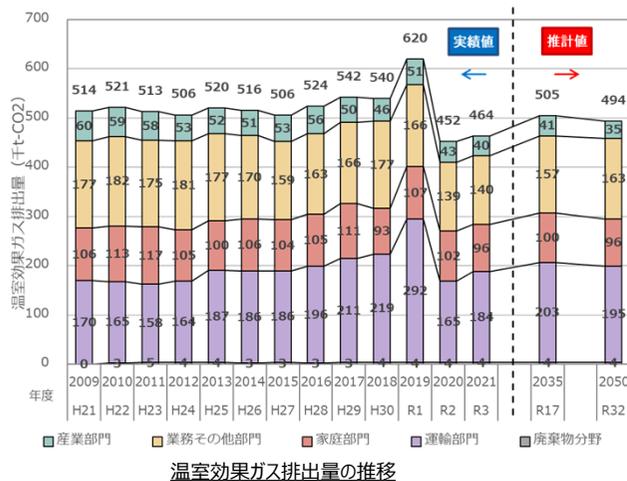
第2期石垣市エコアイランド構想



4. 石垣市の環境を取り巻く地域の状況

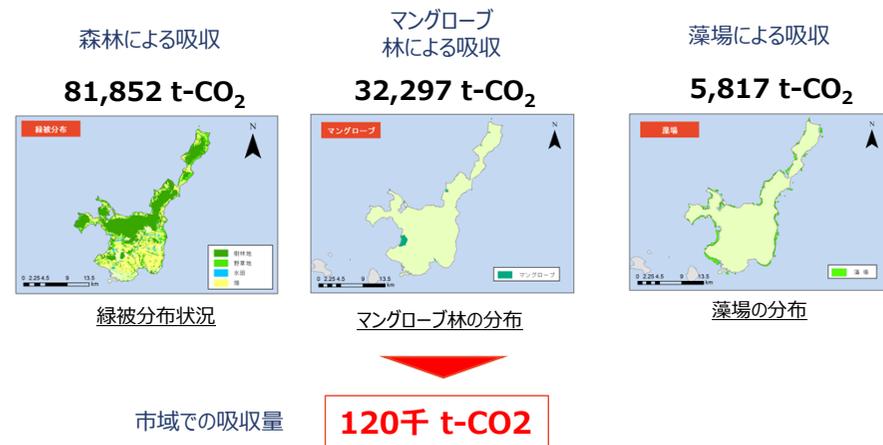
① 市域の温室効果ガスの排出状況

石垣市の温室効果ガス排出量は、2021年で、464千t-CO₂となり、その内訳の4割が自動車の走行や飛行機の利用等の運輸部門からの排出となっております。



② CO₂吸収量の状況

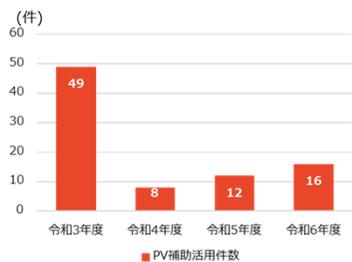
石垣市内には豊かな自然環境が広がり、森林・マングローブ林・海域に吸収源があります。それらの吸収源により、年間120千t-CO₂の吸収量があります。これらの吸収源は適切な保全活動により、維持・増加させることができます。



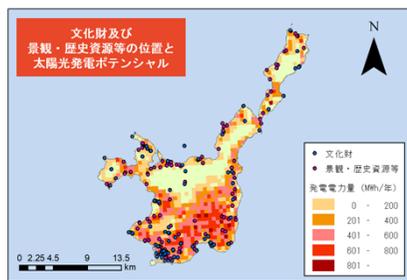
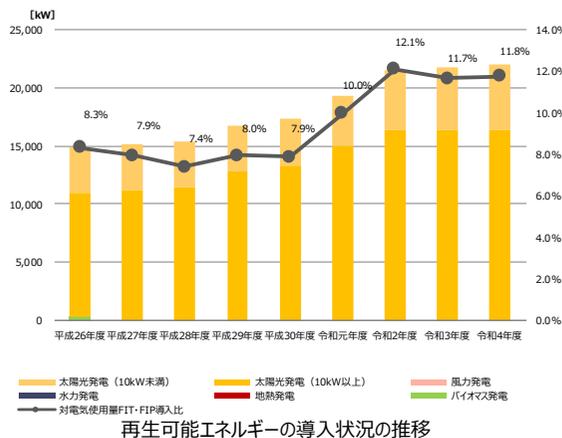
③ 再生可能エネルギーの導入状況

再生可能エネルギーの導入は、太陽光発電の導入量が増加しており、令和4年には、電気使用量あたりで11%導入されています。また、住宅用太陽光発電の導入件数は令和3年からの減少があるものの、10件以上の導入が続いています。

一方で、太陽光発電のポテンシャルのあるエリアでは、景観的に優れた地点も多いので、導入に際し留意が必要です。



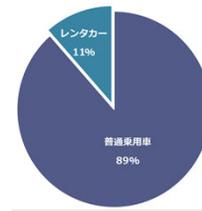
住宅用太陽光発電導入補助金の活用件数



文化財及び景観資源等と太陽光発電ポテンシャル

④ 市内の自動車の利用状況

市内の自動車のうち、1割強がレンタカーとなっています。EVの充電スタンドは、ホテルなどの観光関連施設に多く整備されており、市民の利用を想定した充電設備は少ない状況です。



令和5年度 自家用車両の内訳

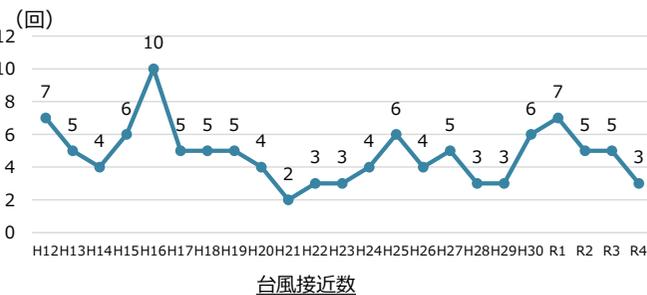


市内のEVスタンドの設置箇所

⑤ 近年の災害の発生状況

石垣市には、全国と比較して、台風の接近回数が多く、平成16年には10回台風が接近しました。

また、激甚な台風被害が出る際には、半日以上の停電が発生することも多くあります。



台風接近数

5. 第2期の石垣市エコアイランド構想の施策体系

第2期石垣市エコアイランド構想では、4つの実現目標を掲げ、目標達成に向けた以下の取組を実施します。

生活に根付いた環境にやさしい エネルギーの導入・活用

- 住宅での太陽光発電の導入促進
- 蓄電池の導入促進
- 再生可能エネルギーの導入推進
- マイクログリッドの導入検討
- ZEH・ZEBの導入促進
- 観光業でのカーボンニュートラル推進
- 移動の脱炭素化
- 交通での再エネ導入、充電インフラの整備
- 港湾施設でのCNP計画の推進
- 航空での先進的な脱炭素化
- 事業所での再エネ・省エネ対策の促進
- 建設業・農林水産業でのエネルギー削減

地域の環境意識の向上

- 観光関連施設の脱炭素化
- 観光事業内での環境啓発事業
- 学校での環境学習の実施
- 住民・事業者への情報発信
- 支援制度の周知

市民生活を豊かにする資源循環の構築

- 4Rの促進徹底
- ごみの分別促進
- フードドライブの実施
- 廃棄物の排出抑制
- 海洋ごみの対策
- 雨水利用の促進
- グリーン購入の促進

生態系の回復に寄与するCO₂吸収源の確保

- 森林保全による吸収量の増加
- マングローブ林の保全による吸収量の増加
- 海域の保全による吸収量の増加
- 産業と連携した吸収源対策の実施
- 建物・都市での緑化
- カーボンオフセットの実施



石垣市のエコアイランドイメージ図

ーみんなで進める石垣市エコアイランド！ー

石垣市がエコアイランドの目標を達成するために、今日から市民・事業者の皆さんでできることとその効果（削減される二酸化炭素）をご紹介します。

住宅の省エネ・ZEH化

ZEHとは、（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）の略語で、住宅の高断熱化、高効率設備による省エネルギーにより、光熱費の削減だけではなく、健康で快適な室内環境で過ごすことができます。

戸建住宅をZEHに変更した場合
・3,543kg-CO₂/戸
・光熱費の節約に！



カーボン
ニュートラル

生活の質
の向上

フリマ・シェアリングの実施

物を捨てる時・増やす時に選択肢として、フリーマーケットで売る、シェアリングやサブスクリプションを利用するという選択肢を持ちましょう。

1年間に購入する服の10%（1.8枚）をフリマで購入した場合
・40kg-CO₂/人



カーボン
ニュートラル

サーキュラー
エコノミー

生活の質
の向上

省エネ家電への買い替え

LEDや省エネ家電などのエコグッズを生活の中に取り入れることで、光熱費が節約できたり、高機能な製品を通じて快適で便利な生活を送りましょう。

エアコンの場合
・70kg-CO₂、7,338円/年
冷蔵庫の場合
・108kg-CO₂、11,413円/年



カーボン
ニュートラル

生活の質
の向上

ごみの分別・減量化

詰め替え製品を使う、ごみの分別を行う、はかり売りを利用するなど、ごみの処理の適正化に取り組みましょう。

家庭から出る容器包装プラスチックを全て分別してリサイクルした場合
・4kg-CO₂/人



カーボン
ニュートラル

サーキュラー
エコノミー

生活の質
の向上

モーダルシフト

近い距離はできるだけ歩いたり自転車に乗るようにしましょう。

通勤・通学のための自動車移動がバス・自転車に置き換えられた場合
・243kg-CO₂/人
・日々の運動による健康維持



カーボン
ニュートラル

生活の質
の向上

植林や海岸の保全活動

石垣市の豊かな環境を大事にする気持ちをもって、保全活動を実施しましょう。

木を1本植林した場合の吸収量
・0.8kg-CO₂/本



カーボン
ニュートラル

サーキュラー
エコノミー

ネイチャー
ポジティブ

出典：環境省HP「デコ活アクション一覧」・環境省「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしの10年後」・環境省「ゼロカーボンアクション30」